

# 空海の靈跡につづく三本の道

## 五岳山と空海修行の地

善通寺は弘法大師空海生誕の地で、その背後に五つの嶺が連なる五岳山がそびえます。その中央の我拝師山にある空海修行の地は、出釈迦寺の奥の院になっています。



善通寺御影

## 四国遍路の草分け

10世紀末から11世紀に弘法大師信仰が定着した後、11世紀末には土佐国金剛頂寺や阿波国太龍寺とともに曼荼羅寺と善通寺が大師の聖跡として記されています。さらに、その約80年後に四国遍路の草分けともされる西行は、空海が修行中に釈迦如来に出会ったという修行場を訪れています。これは、当時の修行僧の慣例であったと述べています。空海がこの地で釈迦に出会ったことは、御影にも描かれました。



空海修行の地(我拝師山)

た。この善通寺御影は、貴族や皇族の要請を受けてたびたび上洛し、模写されるという特別なものでした。

## 三つの巡礼道

鎌倉時代、近隣の七宝山には観音寺と琴弾八幡宮を起点とし、我拝師山を結宿とする修行僧による修験の道がありました。近世になると、庶民が現世利益を求めて巡る四国遍路道が整備されます。さらに、観光要素を求める金毘羅参詣客なども善通寺を訪れました。善通寺市のふる里の風景には、空海の靈跡に魅了されたさまざまな人々の歴史があります。



ふる里の四季

## ふる里の風景

全国でも3番目に高いという五重塔は、古より善通寺来訪者の目印になってきました。善通寺は、修行の意味もある四国八十八ヶ所霊場の中でも弘法大師空海生誕の地として特別な存在です。なかでも、背後にそびえる五岳山には修行する空海が釈迦如来に出会ったという靈跡があります。この伝承により京の皇族や貴族にも崇敬を集め、寺院は隆盛しました。背後の五岳山は、その不思議な山容もあつ



五重塔

て、善通寺を訪れる人々の目に最初に映る善通寺のもう一つのシンボルになっています。

善通寺駅より徒歩20分  
高松自動車道善通寺 I/C より車で20分  
おしゃべり広場(善通寺駅より5分)にて、貸し自転車を利用できます。

四国学院大学  
空海カフェ2  
善通寺市役所土木都市計画課  
香川県善通寺市文京町3-2-1 760-8505  
<http://shigakuweb.jimdofree.com>  
印刷株式会社 弘栄社  
\* 大学コンソーシアム香川後援



# 五岳山と善通寺

## 空海の靈跡につづく 三本の道



五岳山と善通寺五重塔



善通寺五重塔



空海修行の地



筆ノ山 我拝師山 中山 火上山

香色山

五岳山



三つの巡礼道から  
見える五岳の風景

五重塔